

会議録

会議の名称	令和6年度 第4回西東京市文化芸術振興推進委員会
開催日時	令和7年1月20日（月） 午後5時から午後6時10分
開催場所	田無第二庁舎3階会議室
出席者	委員：（対面）濱崎副委員長、笠原委員、中山委員、青木委員、森委員、 亀田委員 （オンライン）新藤委員長、中野委員 （欠席）宮内委員、遠野委員 事務局：文化振興課渡邊課長、文化振興課文化振興係山本係長、文化振興 課文化振興係樋代主査、文化振興課文化振興係神田主事
議題	1 西東京市第3期文化芸術振興計画の評価について 2 その他
会議資料の 名称	資料1 西東京市第2期文化芸術振興計画「令和6年度施策・事業評価 （令和5年度分）」調査表に関する文化芸術振興推進委員会からの 課題③に対する総合評価コメント（案） 資料2 西東京市第3期文化芸術振興計画 事業別評価シート（令和●年 度）
記録方法	☐ 全文記録 ☐ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☒ 会議内容の要点記録
会議内容	
【以下、新藤委員長にて議事進行】 1 開会 ・オンラインによる参加も可能としていることを説明。 ・事務局にて「第3回文化芸術振興推進委員会会議録（案）」を作成し提示。委員より異論がなかったため、正式な会議録とすることで全会一致。 ・第3回文化芸術振興推進委員会において、「【課題③抜粋版】西東京市第2期文化芸術振興計画「令和6年度施策・事業評価（令和5年度）」調査表」における各所管課からの回答内容等について、幾つかの確認事項が出ていたため、確認事項について事務局より回答。 ・事務局にて、資料1を用いて第2期文化芸術振興計画にある文化芸術振興への課題のうち、課題③「文化芸術を通したまちづくりへの展開」に対する総合評価コメント（案）について説明。委員より異論がなかったため、課題③に対する総合評価コメントとすることで全会一致。 2 【議題1】西東京市第3期文化芸術振興計画の評価について	

- ・事務局にて、資料2を用いて西東京市第3期文化芸術振興計画の評価について説明。

○委員長

- ・資料2に基づき、本日の委員会では、西東京市第3期文化芸術振興計画における事業別評価シートについて、委員より意見をいただくこととする。

○委員：

- ・資料2の例にあるような事業は分かりやすいが、各事業の広報等、事業ではない取組については事業別評価シートに記載されなくなってしまうのか。

○事務局：

- ・各事業における広報においては、どの媒体を活用したか把握できるよう、事業別評価シートでは事業概要で広報手段の欄を設けている。

○委員長：

- ・事業別評価シートに記載する事業は、事務局にて整理するのか。

○事務局：

- ・西東京市第2期文化芸術振興計画「令和6年度施策・事業評価（令和5年度）」調査表」に記載されている事業を基に、事務局にて整理を進めており、最終的には各所管課に確認を経てから決定をしていく。

○委員長：

- ・各所管課から提出された事業別評価シートを基に委員会で評価を行うのか。

○事務局：

- ・各所管課から提出された事業別評価シートを基に、事務局にて施策別に一覧表にまとめ、委員会へお示しすることを想定している。

○委員：

- ・西東京市第2期文化芸術振興計画「令和6年度施策・事業評価（令和5年度）」調査表」では、各所管課が主な実績を基に「A～C」の自己評価を行っていたが、定量評価による自己評価はなくなるのか。また、定量評価による自己評価がなくなった場合、委員会にて定量評価を行うのか。

○事務局：

- ・西東京市第2期文化芸術振興計画の調査表では、一定の評価基準はあるものの、その基準が曖昧で評価しづらいとの意見等もあったことから、自己評価については、定量評価をせず、その事業を実施することで施策毎に位置付けている4つの効果の中で、一番寄与したと思う効果及びその理由を記載するように変更する。また、委員会の評価についても、定量評価は行わず、4つの効果の創出について評価をいただくことを想定している。

○委員：

- ・企業の人事考課等では、社員の自己評価と上司の評価を定量評価にて行い、それぞれの評価における乖離を確認していくことが多い。そのことを踏まえると、各所管課の評価においてもこれまでと同様に定量評価にて行う方が良いのではないかと。

○委員長：

- ・西東京市第2期文化芸術振興計画の調査表では、各所管課の自己評価の多くが「A」評価であったことから、これまでの委員会で自己評価をなくした方が良いのではないかと。

という意見もあったと認識している。これまでのように委員会としては、総合コメントとして評価をしていくのか、または定量評価にて行うのかは検討が必要である。

○委員：

- ・事業別評価シートを用いることで、事業の実施時期を把握できることから、一覧表としてまとめるときは実施時期の順番に並べ、事業の少ない時期を洗い出すことも良いのではないかと。また、事業別評価シートは誰が作成するのか。

○事務局：

- ・事業別評価シートの作成は各所管課の担当職員にて行い、最終的には各所管課の所属長の確認を経てから提出される。

○委員：

- ・各所管課から提出された事業別評価シートを取りまとめることについて、事務局の事務負担が増加するのではないかと。

○事務局：

- ・西東京市第2期文化芸術振興計画「令和6年度施策・事業評価（令和5年度）」調査表」では、事業数が約290事業あったが、事業別評価シートに変更することに伴う整理では、事業数の見込みが約90事業になる予定である。そのことから、事務負担が増加することはないと認識している。

○委員：

- ・計画の考え方として、基本方針及び施策に基づき事業があると認識している。一方で、事業別評価シートは、事業を計画の基本方針及び施策に割り当てているように見えるため、順序がおかしいのではないかと。

○事務局：

- ・事業別評価シートでは事業名を先に記載するようになっているだけで、基本方針及び施策があって事業があるという点については、西東京市第3期文化芸術振興計画においても変更はしていない。

○委員：

- ・西東京市第2期文化芸術振興計画「令和6年度施策・事業評価（令和5年度）」調査表」における自己評価について、「A」評価をすると予算が確保しやすくなる等、評価によって何か影響することがあるのか。

○事務局：

- ・文化芸術振興施策の推進には、各施策展開について、実効性を確保するための進捗管理を行う必要があり、各施策に関してPDCAサイクルを繰り返し行うことにより、取組の実効性を確保している。

○委員：

- ・そうであれば基本方針や施策の目的を達成できているか評価したいため、目標を達成していなければ「B」評価や「C」評価とする等、より適正に自己評価をするべきではないかと。

○委員：

- ・西東京市第2期文化芸術振興計画「令和6年度施策・事業評価（令和5年度）」調査

表」においては、多くが「A」評価であったため、「B」評価や「C」評価があると厳しく見てしまう。また、委員が見やすいよう三ツ星評価にする等工夫をしていただきたい。

○委員長：

- ・何のために評価するのかによって検討することが変わってくるのではないか。事業別評価シートについては、委員からの意見等を踏まえ事務局にて再検討することとし、次回の委員会にて再度意見を聴取することとする。

3 【議題2】その他について

- ・事務局にて、第5回文化芸術振興推進委員会の予定（令和7年2月13日）及び内容（西東京市第3期文化芸術振興計画の評価方法）について説明。

4 閉会

以上